



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R1.6.5 No. 21



○ 5年 郡連合音楽会(6/6)に向けての校内発表会

6月4日(火)、5年生が全校の前で校内発表会を行い、『世界中怪獣』を歌いました。

歌う前に、「今までの南条小学校の5年生は、毎年素晴らしい歌を歌ってきている。今の6年生も去年とても素晴らしかった。歌が上手であることが、この学校の1つの伝統になっている。」という内容の話をし、「今年の5年生はどうでしょうか?」とわざとプレッシャーをかける言葉かけをしました。また、聴いている児童には、「聴き終わって、良かったと思う気持ちを拍手の大きさに表してください。」とも言い、一人一人が審査員になってしっかり聴くことを意識してもらいました。もし、歌い終えた時の拍手が小さかったら・・・これも5年生にとってのプレッシャーになったと思います。しかし、どちらの言葉も、5年生が練習からしっかり歌えていることを十分に分かっており、上手に歌えることを知っているの言葉です。

予想通り、本当に素晴らしい発表でした。歌い終わった後に、大変大きな拍手があり、その拍手は、5年生全員がステージから降りるまでずっと鳴り響いていました。

「すごく大きな声で歌っていた。」「きれいな歌声だった。」「振り付けが良かった。」「何度もゾクゾクするくらい感動した。」等、聴いていた児童からたくさんの感想が述べられました。

当日も本校の代表として、ぜひ自信をもって歌ってきてください。また、校内発表会を聴きに来てくださったお家の方、お忙しい中、ありがとうございました。



【 6月6日(木) 南条郡連合音楽会について 】

会場:南条文化会館大ホール 14:20～開会式

○14:30～小中学校合唱の部

今庄小、河野小、湯尾小、**南条小(4番目)**、今庄中、南条中の順番です。

○15:25～吹奏楽の部 今庄中、南条中

保護者席は167席です。13時半から南条小のリハーサルもありますので、お早めにお越しください。5年生の頑張りをぜひ見にいらしてください。

○ 全校集会 校長の話

6月3日(月)の全校集会で、外部の人に2つ誉められたという話をしました。

1つ目は、先週、ツバメの話をするために来られた日本野鳥の会の会員で、元校長先生から、「4年生の態度が良くて、授業がしやすい。非常に反応が良い。」ということや、「何回来て、いつも校舎内がきれいである。」ということ。2つ目は、毎日送迎をされているお祖父様から、「みんなの挨拶が元気で、とても気持ちが良い。」ということです。また、挨拶に関しては、いつも5年生の授業のはじめと終わりの挨拶が、大変素晴らしいということ(4年生の時からです)も付け加えました。校長として、とてもうれしいということと、頑張っている子どもたちに感謝の気持ちを伝えました。

今年度、先生方に、子どもたちに次の6つのことを徹底して指導してくださいと言っています。

- ・挨拶、返事をしっかりする
- ・掃除をまじめにする
- ・歌をしっかりと歌う
- ・時間や約束を守る
- ・物を大切に扱う(壊さない)
- ・悪口を言わない

機会を捉えて指導してもらっていますが、指導の成果が実際にあらわれており、大変ありがたいことです。今後とも意識して頑張してほしいことです。

「ありがとう」 言っていますか？

「ありがとう」は、プラスのパワーを持つ言葉。言われて嫌な気持ちになる人はいないばかりか、言った本人も気分が良くなります。家族でも、友達同士でも良い関係を築くために必要なのは、素直な気持ちで言う「ありがとう」という言葉。この言葉は、コミュニケーションを簡単に円滑にする魔法のような言葉です。また、人に感謝の気持ちを伝えることを意識すると、誰かが自分にしてくれたことに敏感になれる。そうすると、今まで気付かなかった周りの人からの親切や優しさが見え、どんどん毎日が楽しくなります。感謝の気持ちを多く伝えられる人は、それだけ「ありがたいと思えることを探す能力」に優れている人ということになります。「ありがとう」を意識すれば、物事のプラスの面にどんどん目が向くようになります。相手に対する感謝の気持ちを持つと、人に対する接し方が穏やかになります。日々を穏やかに過ごしている人は、笑顔が多くなり、周りを和ませる存在になります。そして、「あの人の側にいると何だかとても安心できる。」そんな良い印象を持たれるようになります。また、感謝の気持ちを伝えれば、相手からも前向きな反応が返ってきて、良好な人間関係を築くことができます。

しかしながら、昔から、「親しき中にも礼儀あり」という言葉がありますが、家族等、存在が身近な人ほど、「してもらって当たり前」、「言わなくても分かっているだろう」という気持ちになりがちで、「ありがとう」と言わないことがあります。子ども、特に小さなお子様への「ありがとう」は、成長を促す上でとても大切です。些細なことでも見逃さず、感謝の気持ちを伝えていただきたいものです。そうすることで、やる気がアップし、さらに大人の真似をして「ありがとう」を言える人に育っていくことでしょう。

「ありがとう」を言葉にするとしないのでは、与える印象は大きく違います。周囲が幸せな気持ちになるのですから、恥ずかしがらずにどんどん使っていきたい言葉ですね。